



# みんなの 声

～高島市誕生にゆせて～

明けましておめでとうございます！新年の始まりとあわせて、1月1日、高島市が産声を上げました。そこで、1月1日生まれのみなさんから、新しい街によせる声をいただきました。みんなの声を集めて、新しい高島が歩き出します！



旭庭 義和  
新 櫻

高島市の誕生、正直な所ピンとこない。50年前の新旭町の時もそうだった。時の流れと共にお互い「和」を以て今日に至っている。「和」を持って尊しとなる」との諺のように、高島市を築いていきたいものです。それは、次の世代へ送る我々の責務と考えます。健康の街、豊かな街、そして笑顔の街へ精進しましょう。



マキノ 磯野 久人

各町村がそれぞれ独自の良さを発揮した時代から、ひとまとまりの大きな豊かさ求める市の誕生だと考えています。私一人の力では何もできませんが、記念の年に第三子がうまれます。子どもたちとたくさん施設を活用し、イベントに参加して多くの仲間を増やし、一つの心になっていく一歩にしたいと思っています。



旭原 三芳  
新 上

半世紀前に生まれた新旭町が、更に大きくなって新市の誕生。限りない喜びと不安が交錯し、スピード感のある世の移り変わりにただ驚くばかり。かつて昔、「とんとんとん」と隣組と唄った人情味あふれる里、人の痛み、命の尊さが解り合える心豊かな町、高島市になって欲しいと思います。



マキノ 赤崎 謙

私は、現在身体が不自由となり病床に居りますが、今まで私なりの「湖西」を描いてきました。その美しさと広さは感動に尽きません。高島市発足に当たり期待することは多いのですが、何よりも素晴らしい自然と景観を活かした美しい市となってほしいと願います。



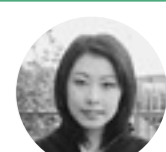
安曇川 一井佐智子

「よいよ」高島市のスタートです。豊かな自然に囲まれたこの地から、新たな一歩を踏み出していくのですね。私は、これからの高島市には今までより身近な存在であって欲しいと思っています。このまちならではの細やかな部分を失わず、より住みよいまちになっていくものと期待しています。



旭合 敏恵  
新 河

20数年前、京都から新旭町へ移り住んで、私は住民と行政が、大きな自治体より密接な関係が持てることに喜びを感じました。市になって、このマメさ、細かさは残して欲しいと思います。また、高島市のこの美しい自然を後世に残すため、一層の努力がなされることを望んでやみません。



安曇川 伊香佐枝子

高島市誕生、おめでとうございませう。まだ実感はありませんが、便利、快適でありながら、温かいまちになって欲しいです。県外で仕事をするようになり、地元を離れる事が多くなりましたが、それでも高島に戻ると、ホッとします。スケールが大きくなっても、いつまでもそんなまちであって欲しいです。



マキノ 伊吹 克

他所にはない高島らしさを残すために、美しい景観や自然、豊かな里山を守り育ててほしいと思っています。心の故郷としての里山は貴重な宝物です。自然と人が共生して育まれた里山を後世に残しておきたいものです。



高川 端 昭子

西暦2005年、平成17年1月1日新市誕生おめでとうございませう。湖西地方は大変美しい自然に囲まれて住み良い所です。病院も駅に近い所に有るので年寄りには大変便利だと思います。これからますます高齢社会になっていくので行政が大変だと思いますが皆様頑張ってください。



マキノ 友一

私は生まれて今までもずっとマキノに住んでいます。昭和、平成と時代は変わり一番私の中で不安に思われる事は時代の流れとともに心がなくなっている事です。新しい市になって望む事も多くありますが新しくなっても心を育てる市政を望みます。がんばってください。



安曇川 小西 清一

高島市誕生により行政に対する市民の期待も大きなものとなると思われれます。自分も町の消防団員ということもあり、今までの町村の枠を越えた活動を期待されるものと思っています。高島市として今後いろいろな面で発展していく事を願っています。



安曇川 博

高島市の発足と私の誕生日が同じであることに喜びを感じています。高島市に対して「温故知新」の思いです。以前のよい部分を活かして新しい物事に適応していく事を望みます。各々の世代が安心して豊かに生活していけるよう、市民の協力と行政の努力を期待します。



旭 与三吉  
新 小島

高島市が誕生するにあたり、患者が大津・守山まで足を延ばさなくても安心して治療を受けられる地域の医師およびスタッフを充実させて欲しいと思います。また、交通弱者への思いやりのある歩道等の整備や、交通安全に心がけてもらい、住みやすい新しい市にして欲しいと思います。



津 正弘  
今 小山

高島市の誕生おめでとうございませう。恵まれた人と自然を生かし、心の豊かさを大切に地域社会であってほしいと願っています。高島市の魅力に惹かれ訪れる人とともに若い人の働く場が増え、活力の生まれていくことを期待しています。



旭 昭  
新 武田

「高島市」この3文字にふくまかな喜びを感じます。単に多数決で決定されたという物理的な物でないところに心を温かくします。郷土に思いする人々の大地の声に耳して、それぞれの利害を超えて「高島」という悠久の歴史を内に秘めつつの第一歩に未来を感じます。今後の市政の精神をこころ。



津 幸子  
今 後藤

新市誕生おめでとうございませう。ましてや私のウン歳の誕生日と同じ日に高島市として産声をあげたことに一人一歩の喜びを感じております。私はスポーツマンです。スポーツを通じて他府県市町村との交流を深めていきたい。夢があつて犯罪のない安全で安心して暮らせる高島市にしたいですね。



島 輪 繁夫  
高 外

私は、1月2日が予定日だったのですが、母が、地元の日吉神社に1日にお参りした帰りに産まれ、日吉神社とは縁深くこの例大祭である大溝祭りが幼い頃から好きです。湖西唯一の曳山祭りを、高島市祭りになるようにこの文化を伝承していきたいです。



津 悠作  
今 竹本

「ポイ捨て禁止」買い物に行つた時、みぞに、買い物ぶくろ、ジュースのカン、ペットボトルが捨ててありました。浜にも同じような「ミ」が捨ててありました。1月1日から新しくなる高島市は、ポイ捨てのないきれいな町になってほしいです。

